



# 沼津西ロータリークラブ週報



2007～2008年度  
第17巻01号  
2007年7月7日

## ロータリーは分かちあいの心

● クラブテーマ ●  
**心、豊かに活動奉仕**

■■ 本日のプログラム ■■  
前年度会長・幹事、ガバナー補佐・事務局慰労会

例会場：ブケ東海 (12:30点鐘) 例会日：毎週木曜日 第三木曜日：18:30  
事務局●TEL&FAX 055-967-2152  
事務担当者●川口恵美  
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

### ◆◆第765例会 会長挨拶◆◆



渡辺 亀一 会長

皆様こんばんは、本日は2007～2008年の新しい年度のスタート

であり、今年度の第一回例会で、前会長、幹事の慰労会と、また第3分区の前ガバナー補佐ならびに、事務局の慰労会を兼ねた例会となりました。栗原前会長、宮島前幹事、1年間本当にご苦労様でした、そして前ガバナー補佐、名古屋様、事務局の久松様、本当にご苦労様でした。I.Mの成功裏の1ページにその名を刻し9年後の規範となりました。今日は、4人の方々から、その労を癒していただければ幸いです。先週は前年度のサヨナラ例会といたしまして、ご夫人同伴となりました、親睦委員会の皆様には、大変お骨折り頂きまして、おかげ様にて楽しく懇親が図られました、心より感謝申し上げます。

ロータリー年度の始まりが、7月1日から始まるわけですが、ロータリーを発足した当時のアメリカの会計年度が、7月1日となっていた所から来た様です、日本の新年度は4月からで御座いますので、ロータリーに入会した頃は違和感も御座いましたが、今では、抵抗なく受け入れております。それだけロータリーの年度替わりに、会員の皆様と新年度に向けて、諸事を繰り返し行っているせいであろうと思うわけで御座います。

さて、私がこの会長席のご指名を頂いてから今日まで、自問自答の中であれこれ思案をしてまいりま

したが、不安ばかりが先行して本日を迎えてしまいました。ロータリアンとして、また、西クラブの会員として、どうしても避けて通ることの出来ない、道と云うことで御座いますので微力ではございますが、受けさせて頂いた次第であります、歴代会長、並びに会員の皆様が築いてきました西ロータリークラブに、ひとつでも貢献出来ますように、ロータリーの本質をよく理解して全力投球で邁進する所存で御座います。

私は、クラブテーマを「心、豊かに活動奉仕」と掲げました、分かち合いとは自分にとって不要になったものを恵み与えるものでなく、人のために我を忘れて自らを捧げることであり、奉仕とは相手に対して一方的にしてあげると云うことではなく、分かち合うと云う気持ちが大切である。R.I会長はこのように申されました。私は、豊かな心とはこのような行動を云うのであろうと思うわけで御座います。向こう1年、分かち合いの心で皆様方のご指導と、ご協力をお願いして会長挨拶とします。

7月のプログラム	
766回	12:30 会長・幹事・四大奉仕委員長
7月12日(木)	の抱負 理事会
767回	18:30 クラブフォーラム
7月19日(木)	C L P 検討委員会 夜間例会
768回	12:30 クラブ協議会
7月26日(木)	C L P 検討委員会

#### ●ビジター (ブケ東海にて、記帳された方)

1. 石川秀雄様：沼津RC
2. 山口和也様：沼津北RC
3. 鈴木紘逸様：沼津北RC
4. 山田文章様：沼津北RC

会 長	渡辺亀一	幹 事	植松 正
会報委員長	宮島賢次	編 集 者	宮島賢次

## 出席委員会報告

### ★出席報告（会員総数 26 名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
765回	25名	18名	-	72.00%
763回	26名	20名	3名	88.46%

### ●欠席者（7名）

後藤 昭、森 茂美、西島邦彦、西山幸三郎、大久保豊和、佐野 稔、鈴木良則

### ●他クラブへの出席者（3名）

井上武雄、佐野 稔、吉川直人（7/3 沼津北RC）

### ●スマイル報告

1. 鈴木良則：栗原会長・宮島幹事、一年間ご苦勞様でした。
2. 名古屋良輔：栗原会長・宮島幹事、一年間本当に、ご苦勞様でした。
3. 名古屋良輔：一年間のガバナー補佐活動にご協力いただき、心より御礼申し上げます。
4. 久松 但：名古屋G補佐、一年間、ご苦勞様でした。
5. 久松 但：栗原会長・宮島幹事、一年間ご苦勞様でした。
6. 芹澤貞治：栗原さん、宮島さん、前年度は、素晴らしい例会、ありがとうございました。尚、渡辺会長、植松幹事年度の成功を望みます。
7. 土佐通孝：前会長栗原さん、前幹事宮島さん、大変、お疲れ様でした。新会長、渡辺さん、新幹事植松さん、宜しくお祈いします。
8. 杉山 了：前栗原会長・宮島幹事、一年間ご苦勞様でした。渡辺会長、植松幹事、新年度、宜しくお祈いします。
9. 宮島賢次：名古屋ガバナー補佐お疲れ様です一年間ありがとうございました。渡辺会長、植松幹事、新年度、これから宜しくお祈いします。
10. 渡辺亀一：前会長栗原さん、前幹事宮島さん、一年間ご苦勞様でした。
11. 鈴木泰次：栗原さん・宮島さん、一年間ご苦勞様でした。名古屋さん、久松さんも大変、御苦勞様でした。これから一年、渡辺会長、植松幹事、宜しくお祈いします。
12. 栗原侑男：慰勞会、ありがとうございました。渡辺年度、がんばってください。
13. 井上武雄：慰勞会、ありがとうございました。渡辺年度、がんばりましょう。
14. 大村保二：慰勞会、ありがとうございました。渡辺年度、がんばりましょう。

15. 渡辺亀一：前ガバナー補佐名古屋さん、事務局の久松さん御苦勞様でした。
16. 植松 正：一年間、よろしく、お祈いします。
17. 吉川直人：一年間、お疲れさまでした。
18. 杉山壽章：名古屋ガバナー補佐、栗原会長・宮島幹事、一年間、お疲れ様でした。
19. 芹澤和子：一年間、御苦勞様でした。本年もご指導下さい。

## 幹事報告



植松 正 幹事

### 1. 他クラブの例会変更等

#### ①長泉ロータリークラブ

7月18日（水）夜間例会

前年度役員慰勞会 於：花利久 点鐘：18:30

### 2. 報告・連絡事項

- ①井上ガバナー事務所より、1年間のお礼状が届いております。
- ②RIより、国際ロータリー2007年規定審議会決定報告書が届いております。RI細則8.140.3項に準拠し、クラブは採択制定案または採択議決案に対して「立法案反対表明書式」を用いて反対を表明することができます。但し、2007年8月27日までにRi世界本部に必着しなければなりません。もし、反対意見のある方がいらっしゃいましたら、幹事までお申し出ください。クラブ内で別途協議いたします。
- ③RI第2620地区より2007年～2008年度「会員増強・維持セミナー」開催の案内がきております。8月4日静岡市のクーポール会館で開催となっておりますので、会員増強委員長は出席くださるようお願いいたします。
- ④上半期の会費納入を7月末までにお祈いします。
- ⑤次週は例会後、理事会を開催いたしますので、理事ならびに協議対象の委員長の皆様は出席宜しくお祈いします。

## 慰勞会

### 杉山壽章 親睦委員長

渡辺会長の乾杯の音頭で慰勞会は開催されましたが、まずは栗原会長、宮島幹事、名古屋ガバナー補佐、事務局の久松様、この1年間御苦勞様でした。



振りかえりますと、クラブテーマであります「心に残る奉仕プラス1」更にIMのリハーサルで始まり、IMのテーマ「親睦を深め、奉仕の理想を学習し健康でロータリーを楽しもう」で終わった様な気がしますが、全員一丸となつての活動の成果もあったと思います。

皆さん、今宵の慰労会は大いに盛り上がり、互いの労をねぎらい明日より又頑張らしましょう。

最後に前親睦委員長の芹沢さんに締めをお願いし、全員で手に手をつないで宴会を終了しました。その後は、有志だけで二次会で夜更けまで盛り上がりました。



慰労会風景



渡辺亀一 会長&栗原侑男 前会長



宮島賢次 前幹事



名古屋良輔 前ガバナー補佐



久松 但 前ガバナー補佐事務局



続いて二次会風景

### 編集後記

3年振りの編集となるが、当時は初めての編集ソフトに手こずりながら、年度前に勉強会を何度も行い、やっとの事で完成させた時期があった。

今は会報委員も経験者が殆んどで、私も思い出しながらなかなかスムーズに出来た。

これから一年間宜しくお願いします。

2006～2007年度の会長、ガバナー補佐及び、IM実行委員長を始め、各委員長の皆さん本当にお疲れ様でした。とても素晴らしい年度になったと思います。有難う御座いました。

2007～2008年度も素晴らしい年度になります様にお祈りします。



# 沼津西ロータリークラブ週報



2007 ～2008 年度  
第 17 卷 02 号  
2007 年 7 月 12 日

## ロータリーは分かちあいの心

● クラブテーマ ●  
**心、豊かに活動奉仕**

■■ 本日のプログラム ■■  
会長・幹事・四大奉仕委員長の抱負

例会場：ブケ東海 (12:30点鐘) 例会日：毎週木曜日 第三木曜日：18:30  
事務局●TEL&FAX 055-967-2152  
事務担当者●川口恵美  
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

### ◆◆第 766 例会 会長挨拶◆◆

渡辺 亀一 会長

景気の拡大局面が戦後、最も長く続いているといわれておりますが、皆様いかが受け止められているでしょうか？

先月発表された内閣府の月例経済報告でも、一部に弱さが見られるものの景気回復が持続していると見ております。2002年2月から始まった現在の景気回復期間が、先月で65ヶ月となり、戦後最長だったいざなぎ景気を07年6月で8ヶ月上回ったこととなります。しかし私たちには景気拡大が続いているといわれても、ピンと来ないのが実情のようで御座います。

いざなぎ景気は、戦後最長といわれた景気拡大局面が、1965年から70年の57ヶ月も拡大しました。「いざなぎ」は古い神話に出てくる神様の名前で、日本の国土を作り上げたとされております。それほど昔にさかのぼらないと、この期間の好況が言い表せないとの理由から名付けられたようです。

しかし今回の景気を、実質GDPの比較をトレンドラインで表すと、その上昇角度、勢いは、比較にならないほど弱く、図で表すと大差で表示されております。このような景気判断は、ただ景気が上向きか下向きかという「方向」だけで判断されている判定のようです。

いざなぎ景気の源は、それはやはり、東京オリンピックの開催が大きな要因であったと思います。新幹線の開通に高速道路の着工と、日本中が活気にあ

ふれておりました。丁度その頃3Cの神器（三種の神器）ともいわれた、カラーテレビ、クーラー、乗用車などが、もの凄い勢いで普及していったことを思い出されます。東京都がまた、オリンピック招致を掲げました、もし開催が決定されるようになりますと、いざなぎ超えをされたとするこの景気に、大きな変化が現れることがあるかもしれません。また期待もしております。

#### 7月のプログラム

767回	18:30	クラブフォーラム
7月19日(木)		C L P 検討委員会 夜間例会
768回	12:30	クラブ協議会
7月26日(木)		C L P 検討委員会

#### 8月のプログラム

769回	18:30	納涼例会 親睦委員会
8月03日(金)		曜日・時間変更
770回	12:30	クラブ協議会
8月09日(木)		前年度事業・決算報告 理事会
8月16日(木)		裁量休会
771回	12:30	クラブ協議会
8月23日(木)		ガバナー補佐来訪
772回	12:30	卓話 会員増強委員会
8月30日(木)		

#### ●ビジター

1. 千葉慎二様：三島西RC
2. 杉山裕将様：沼津北RC
3. 内田文喬様：沼津北RC
4. 杉山栄一様：沼津北RC

会 長	渡辺亀一	幹 事	植松 正
会報委員長	宮島賢次	編 集 者	宮島賢次

## 出席委員会報告

### ★出席報告（会員総数 26 名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
763回	25名	24名	-	96.00 %
761回	26名	20名	2名	84.62 %

### ●欠席者（1名）

久松 但

### ●他クラブへの出席者（3名）

井上武雄、芹澤貞治、鈴木良則  
(7/7 米山記念館)

### ●スマイル報告

1. 杉山裕将様（沼津北 RC）：おじゃまします。  
本年度、よろしく、お願い致します。
2. 内田文喬様（沼津北 RC）：いつも、お世話になります。
3. 鈴木博行：誕生日のお祝いありがとうございます。
4. 鈴木良則：所用につき、早退させていただきます。
5. 佐野 稔：所用につき、早退させていただきます。

## 幹事報告

### 1. 他クラブの例会変更等

#### ①静岡南ロータリークラブ

7月31日（火）夜間例会 18:00～ 於：東海軒会館  
メーキャップは11:30～12:30 於：中島屋八幡ガ  
ーデنز2階

#### ②沼津柿田川ロータリークラブ

8月13日（月）裁量休会

### 2. 報告・連絡事項

#### ①沼津柿田川ロータリークラブより

7月から、諸般の事情によりビジターフィーを、  
2,300円に変更させていただくことになりました。

## 理事会報告

### 1. 協議事項

- ①8月プログラム クラブ奉仕委員長 鈴木 泰次 君  
プログラム委員長 土佐 通孝 君  
・プログラム委員会の原案どおりとする

- ②8月の親睦予算について クラブ奉仕委員長 鈴木  
泰次 君、親睦委員長 杉山 壽章 君

・納涼例会（家族同伴）～会場：ブケ東海

### 【収入の部】

会費(会員) 2,000円 × 25名 = 50,000円  
会費(同伴) 1,000円 × 5名 = 5,000円  
会食費 1,800円 × 25名 = 45,000円  
委員会 20,000円  
合計 120,000円

### 【支出の部】

飲食代 4,000円×30名 = 120,000円

③8月23日（木）クラブ協議会 ガバナー補佐公式  
訪問について

- ・ガバナー補佐の卓話は15分程度とし、終了後全員  
参加にて年次計画について、補佐と1時間程度協  
議する。

## 会長・幹事、四代奉仕委員長の抱負



渡辺 亀一 会長

私は、ロータリーに入会した当  
時から、ロータリアンとしての責  
任は、先ず会費の納入、そして出  
席規定に従う、そしてクラブの奉  
仕プロジェクトに参加すること、これを守ることで  
クラブの一員として片隅に置いて頂けることと思っ  
ていました。

会長など夢にも思っていませんでした。それは、  
入会以前から多少はロータリーを認識しておまし  
たので、紛れもない本心で御座います。

振り返りますと、入会をしてみますと、それは崇  
高な皆様が一同に会して居られて、私の様な者が入  
ってその品位のさまたげになりそうで、非常に緊張  
の続く毎日でした。そんな日々が続く中で私は、人  
生の一大局面に当たってしまいました。それは全く  
予期せぬ大病でした。

胃の中の腫瘍の一部を採取した検査結果は5段階  
の5の判定でした。その時、多くのロータリアンに  
励まされ、素晴らしい心のケアをして頂きました  
。ロータリーとは何と素晴らしい所だろうと、心身  
で感じた次第です。生涯忘れることの出来ない体験  
でした。

あれから丁度10年を経過します。そして会長と云  
う重責を、お引受けできるようになったことを、

大変うれしく思います。

私には技量などありません。しかしロータリーも時代による変遷かどうかはよく分かりませんが、替わろうとしていることは皆様ご承知のとおりと思います。私は、この事実をしっかり受け止め、皆様とともに検討を重ね、より良い形といたしまして次期に引き渡すことが責務と思っております。

10年前頂いたあの気力を持って、西クラブ発展の一翼を担い、国際ロータリーの発展につながればと思っております。



### 植松 正 幹事

今年3月に開催されましたPETSで第3分区の各クラブの会長・幹事と顔合わせをした際、皆クラブ在籍年数は10年以上の方ばかりでした。柿田川RCの梅田幹事が入会4年目であることを聞くと皆驚かれ、私が3年目でかつ年齢も30代であることを聞くと、驚きを超え失笑すらされていました。

しかしながら、幹事という立場になったからこそ、より深くロータリーの本質やシステム、組織を知る機会を与えていただけたと考えています。特に当クラブは来週からCLP導入について本格的に協議いたします。このことを通じロータリーの抱える課題や改善点を理解できると思っております。

最後にこの1年を通じ自分なりの三つの目標をたてました。①自身のホーム出席100%。②CLPの導入検討を通じ、クラブの定款・細則の理解を深める。③会員の皆がクラブテーマに沿った「心豊か」になるよう渡辺会長をサポートする。の以上です。

経験不足は否めませんが、若さと新鮮な観点からクラブ発展のため頑張りますので、よろしく願いいたします。



### 鈴木 泰次 クラブ奉仕委員長

はからずも次年度会長に指名され、お引き受けすることになりましたが、ロータリーの経験も浅く知識も乏しく、大変な役を受けてしまったものと悩んでおります。

しかしながらメンバーであれば、いつかは回って来るものと開き尚ってやるしかないなと思うことにしました。クラブ奉仕委員長の抱負を語るにあたり、ひしひしと感じてきました。

本年度は、大きな事業はないもののクラブ・リーダー・シップ・プランの実現に向けて作業を行う1年になるかと思えます。

これはC.L.P.についての皆さんの考えを一つに集約し、これからのクラブ運営を一層合理的に活性化させて行くものと考えます。

各クラブ奉仕委員会の活動計画を実行し、より良い成果が上がるよう皆様のご指導とご協力を心からお願い申し上げます。



### 久松 但 職業奉仕委員長

職業奉仕はロータリーの原点であり、ロータリー活動の根幹です。職業奉仕の真髄は、ロータリーの説く職業倫理の実践とその高揚、普及にあります。

ロータリアン自身が、第一に「職業は奉仕の機会である」との確固たる認識にたつて職業奉仕の理念を正しく理解することに努め、そして「ロータリーの説く職業倫理」を自らの職業生活に適用し実践することが職業奉仕の出発点となります。

ロータリーの説く職業倫理とは、1923年に採択された、「最もよく奉仕する者が、最も多く報いられる」という実践倫理にあります。

本年度は、地区職業奉仕委員会の考えに基づき、会社や団体における行動規範としての「社是」「社訓」「座右の銘」等を推挙していただき、卓話等で披露していただきたいと考えています。

また、職場訪問を実施し、その会社のモットーや心がけていることなどを聞きながら、会員各位の職業奉仕に役立つようにしていきたいと思えます。



芹澤 和子 社会奉仕委員長

社会奉仕委員会は、長年地域社会に貢献をする活動を行っております。この活動を継承し、広報委員会と連絡を取り、地域の皆様にRCの活動をPRし、親睦委員会とも関係をして、クラブ内でもメンバーの協力をお願いし、ご指導をして頂き、一生懸命楽しんで、与えられた役目を会長の方針に基づき実行していきます。

今年は帯笑園の支援活動もあり、10月に千本浜遊歩道の清掃の際、2班に別れ帯笑園の清掃作業を行います。

今後はこの活動も繋げたいと思えます。



本村 文一 国際奉仕委員長

ロータリー章典には、「国際奉仕の目的は、ロータリアンのあいだに、また一般の人々のあいだに

、理解と善意をはぐくむことが、ロータリーの国際奉仕の明確な任務である。」とあります。

すなわち、各国のロータリアン同士の好意と友情を基に、最終的には、全人類的な理解、親善、平和に繋ごうということであると思えます。

そのための手段として世界社会奉仕活動があります。世界には、絶え間ない戦乱や驚くべき貧困が存在し、こうしている間にも餓死や病気で死んでいく子供がいます。日本では、当たり前、水がなかったり、学校に行くこともできない子供が世界では普通に存在します。我々が、ちょっと援助することで数多くの命が助かったりする現実があります。

世界には、こうしている間に井戸を掘ったり、健康検診をしたりしているロータリアンの同胞が存在します。

ただ、我々のような小クラブでできることも確かに限られています。そこで今年は、何が、できるのかということについて考える一年にしたいと思えます。

### 編集後記

 恒例の会長、幹事及び四代奉仕委員長の抱負  を伺いました。

皆さん其々の役割を推考され、素晴らしい目的、目標を持たれていると思えます。我々もその一端を担うべく協力を惜しみません。皆のロータリークラブなのですから。（ちょっと偉そうに）

 早速19日は、CLP検討委員会主催のクラブフォーラムです。当クラブに最適の組織スタイルが出来る様、活発な意見交換がされると良いですね。



### 6 月 分 出 席 一 覧

後藤 (4)	久松 (3, 1)+5	井上 (3, 1)	栗原 (4) +1	宮島 (4) +1	宮口 (4)	森茂 (2)
本村 (4)	名古 (3, 1) +5	西島 (4)	西山 (3)	大久保 (3)	大村 (3)	坂部 (2)
佐野 (2+2)	芹澤貞 (4)	芹澤和 (2+1)	杉山了 (4)	杉山壽 (3)	鈴木博 (4)	鈴木泰 (4)
鈴木良 (1+1)	土佐 (3, 1)	植松 (4) +2	渡辺 (3+1) +1	山本 (0)	吉川 (3)	
			例会出席% 79.81%		地区報告% 88.46 %	

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。



# 沼津西ロータリークラブ週報



2007 ～2008 年度  
第 17 卷 03 号  
2007 年 7 月 19 日

## ロータリーは分かちあいの心

● クラブテーマ ●  
**心、豊かに活動奉仕**

■■ 本日のプログラム ■■  
クラブフォーラム CLP 検討委員会

例会場：ブケ東海 (12:30点鐘) 例会日：毎週木曜日 第三木曜日：18:30  
事務局●TEL&FAX 055-967-2152  
事務担当者●川口恵美  
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

### ◆◆第 767 例会 会長挨拶◆◆

渡辺 亀一 会長

日本海側にまた、大きな地震が発生しました。被災された多くの皆様に心からお見舞いを申し上げます。私達の分かちあいの精神で少しでも、その負担を軽減できればと思っております。

Ri のテーマ、ROTARY SHARES を日本語で表しますと、ロータリーは分かちあいの心と書かれます。

RI 会長いわく、ロータリーでの分かちあいとは、自分自身を惜しげなく、人様の役立つことのために捧げることであり、このように申すわけです。

私たちは、毎週ここに一同に会し、国際社会には RI に理解を尽くし、地域社会にはその必要性を見出し、最善の奉仕を対応しているわけです。そして出来た喜びを共有するとき、それが分かちあいであろうと思うわけです。

ロータリーで SHARES と云っただけで、それは分かちあいの心と暗黙のうちに了解していることは、それは、一人ひとり豊かな熱意と思いやりのもとで、常に心をひとつにロータリーの目的を追い続けているからであります。

イギリスでは上場株式の株をシェアというそうです。アメリカではストック、フランス、ドイツはアクシー、それぞれ取り分とか、分け前という意味があるようです。

日本で云う株はそのような意味はありません、株は株です。しかし植物の株にはいろいろの性質を持ったものが沢山あります。分割しなければ成長しないものや、自らどんどん株を増やして成長するもの、樹木株は何千年も成長を続けます。

日本の上場株には直接、取り分、分け前といった意味はありませんが、投資する株主は、樹木株のよ

うに成長し続ける企業に資産を託すわけです。そして、好業績によって得た利益をわけ分として配当されます。そうした所からすると、日本の株も投資家にしてみれば、株=分け前と暗黙の内の了解か、或いは望んだ意味に解釈される所もあるかも知れません。

ロータリーと株を比較したわけでは御座いませんが、シェアと云うひとつの言葉の豊かな表現に、ロータリーの綱領の解析と平和な社会を感じさせます。

ロータリーの長い歴史の中で、大勢の素晴らしいロータリアンのたゆまぬ努力と、善意に満ちた奉仕活動の中から生まれた言葉とは、ROTARY SHARES であったと思うわけです。

7月のプログラム	
768回	12:30 クラブ協議会
7月26日(木)	CLP 検討委員会
8月のプログラム	
769回	18:30 納涼例会 親睦委員会
8月03日(金)	曜日・時間変更
770回	12:30 クラブ協議会
8月09日(木)	前年度事業・決算報告 理事会
8月16日(木)	裁量休会
771回	12:30 クラブ協議会
8月23日(木)	ガバナー補佐来訪
772回	12:30 卓話 会員増強委員会
8月30日(木)	

会 長	渡辺亀一	幹 事	植松 正
会報委員長	宮島賢次	編 集 者	宮島賢次

## 出席委員会報告

### ★出席報告（会員総数 26 名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
764回	25名	17名	-	68.00 %
762回	25名	18名	2名	80.00 %

### ●欠席者（8名）

宮口雅仁、本村文一、大久保豊和、大村保二、佐野 稔、鈴木良則、土佐通孝、吉川直人

### ●他クラブへの出席者（1名）

杉山 了（7/14 第1回諮問委員会）

## 幹事報告

### 1. 他クラブの例会変更等

#### ①沼津ロータリークラブ

8月03日（金）夜間例会（前会長・幹事慰労会）

8月10日（金）裁量休会（メーキャップの受付はいたしません。）

### 2. 報告・連絡事項

①「ロータリー財団セミナー」が7月22日（日）三島グランドホテルにて開催されます。出席対象の渡辺会長、森茂美ロータリー財団委員長はよろしくをお願いします。

②柿田川ロータリークラブとの合同コンペが、ゴルフ同好会主催により7月22日（日）沼津国際カントリーにて開催されます。参加者は時間厳守でお願いします。

## クラブフォーラム

### CLP 検討委員会 渡辺 亀一 会長



RI第2620地区は次年度（2008年～2009年度）までに全てのクラブがCLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）に移行することを目指しています。始めに渡辺会長より、CLP導入を検討する背景や経緯、目的等について説明をいただき、当クラブにおいても前向きに検討していきたい旨の意向が示されました。



### 植松 正 幹事

続いて幹事より、他クラブの導入状況やそれに伴う組織（委員会や理事）の変更について具体的に2クラブの事例に基づき説明を致しました。

時間の都合上、質疑応答は1件にとどまりましたが、次週もクラブ協議会にてCLPについて討議します。会員皆様のご協力よろしくお願い致します。



## 編集後記

CLPの研修資料に以下の文言がありました。

2004年11月会合において、RI理事会はクラブ・リーダーシップ・プランをロータリー・クラブのための推奨管理構成として承認しました。ロータリー・クラブはいつでもプランの施行を選択することができます。このプランは**義務**づけられているわけではありません。

クラブ・リーダーシップ・プランが立案される際、以下の事実が焦点が当てられました。

1. ロータリアンはボランティアであり、通常は多忙な人々である。
2. ロータリー・クラブのリーダーは毎年入れ替わる。
3. 上記2つの事実により、効果的なクラブは継続性を支えるための運営手続きが必要である。

いずれにしても、沼津西RCにとって最良の方針を見付け出せればと思います。また、何時でも修正が出来ると思います。



# 沼津西ロータリークラブ週報



2007 ～2008 年度  
第 17 卷 04 号  
2007 年 7 月 26 日

ロータリーは分かちあいの心

● クラブテーマ ●  
**心、豊かに活動奉仕**

■■ 本日のプログラム ■■  
クラブ協議会 C L P 検討委員会

例会場：ブケ東海 (12:30点鐘) 例会日：毎週木曜日 第三木曜日：18:30  
事務局●TEL&FAX 055-967-2152  
事務担当者●川口恵美  
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

## ◆◆第 768 例会 会長挨拶◆◆

渡辺 亀一 会長

最近の新聞で、農産物の輸入自由化交渉が本格化しているお話がありました。もし自由化を認めることになれば、国内農業が大きな打撃をうけるということで、農業団体などは反発を強めている。そして日本の食料自給率についてふれ、世界の先進国と比較していました。日本の食料自給率は過去 40 年間右肩下がりであります（この 4 年間は横ばい）。昭和 40 年には日本の食料自給率は、カロリーベースで 73%、生産額ベースで 86%あったのですが、現在ではカロリーベースで 40%、生産額ベースで 70%に減少しています。こうしたことで日本は世界一の農産物の輸入国になったわけです。

なぜ自給率が下がってきたかと申しますと、それは食生活の変化が大きな要因です。肉類や食用油の消費が増えて、国内で自給できる米の消費が減ったことが大きく意味するわけです。

政府は平成 27 年度までに、自給率をカロリーベースで 45%、生産額ベースで 76%、に上げることを目標にしています。食料自給率を上げるためには、政府はもちろん生産者から消費者まで、食料に関するすべての人たちの協力が必要であるとしています。

国内で自給出来る「ごはん」や自分たちの近くで生産されている農産物を、しっかり食べることで、そしてご飯を中心に魚、肉、野菜などをたっぷり使ったバランスのよい食事が求められているわけです。

肉類や油に偏った食事は、さまざまな生活習慣病を引き起こす原因にもなっています。日本の豊かな自然の中で四季おりおりの食べ物が、北から南まで、どこの土地でも作ることが出来るわけですから、無理した季節はずれの生産は、余分な燃料消費と環境問題にもなり、旬の味わいもないということになります。

また世界的なバイオ燃料が注目されている中で、その原料となる食料が高騰しているようです。このような自給率では燃料どころか、食材の確保も危ぶまれるかも知れません。

8月のプログラム	
769回	18:30 納涼例会 親睦委員会
8月03日(金)	曜日・時間変更
770回	12:30 クラブ協議会
8月09日(木)	前年度事業・決算報告 理事会
8月16日(木)	裁量休会
771回	12:30 クラブ協議会
8月23日(木)	ガバナー補佐来訪
772回	12:30 卓話 会員増強委員会
8月30日(木)	

### ●ピジター

1. 渡辺妙子様：三島RC
2. 石川秀雄様：沼津RC
3. 大塩秀樹様：沼津北RC

会 長	渡辺亀一	幹 事	植松 正
会報委員長	宮島賢次	編 集 者	宮島賢次

## 出席委員会報告

### ★出席報告（会員総数 26 名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
768回	25名	23名	-	92.00 %
766回	25名	24名	1名	100.00 %

#### ●欠席者（2名）

大久保豊和、杉山壽章

#### ●他クラブへの出席者（3名）

久松 但（7/20 沼津RC）

土佐通孝（7/25 富士RC）

#### ●スマイル・ボックス

1. 石川秀雄様（沼津 RC）：お邪魔いたします。井上さんには、大変お世話になっております。
2. 宮島賢次：ホームクラブ 100%表彰ありがとうございます。
3. 栗原侑男：出席表彰、ありがとうございます。
4. 本村文一：所用につき、早退させていただきます。
5. 鈴木良則：所用につき、早退させていただきます。
6. 芹澤貞治：出席表彰、ありがとうございます。
7. 鈴木博行：出席表彰、ありがとうございます。
8. 名古屋良輔：出席表彰、ありがとうございます。
9. 杉山 了：出席表彰、ありがとうございます。
10. 久松 但：出席表彰、ありがとうございます。
11. 植松 正：出席表彰、ありがとうございます。

## 幹事報告

### 1. 他クラブの例会変更等

#### ①富士宮西ロータリークラブ

8月03日（金）早朝例会（7:00～8:00AM）に変更の為。点鐘午前7時 於：富士宮GCクラブハウス

### 2. 報告・連絡事項

- ①前年度年次報告書の原稿を、本日中に事務局に提出してください。
- ②地区大会の仮登録の青表紙を各テーブルに置きましたので、御記入ください。
- ③ガバナー事務局より、地区会員増強・退会防止委員会を会員増強・維持委員会に変更する旨の通知がありました。RIの委員会名は Membership Development / Retention Committee となっており、その日本語訳から会員増強・維持委員会となりました。（6月3日開催された全国会員増強委員会によって指示がありました）各クラブにおいて

も、会員増強・退会防止委員会の名称を採用している場合は、変更するよう要請がありました。

## クラブ協議会

### CLP検討委員会

渡辺 亀一会長



本日のクラブ協議会は、先週に引き続きCLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）について協議いたしました。内容は以下のとおりです。

#### 1. はじめに～先週のフォーラムでの状況説明

#### 2. 名古屋前ガバナー補佐よりコメント

- ①1年前は机上の空論のように思えたが、現実のものとなっている。
- ②地区の体制も変わってきており（導入しなければ）齟齬をきたす可能性あり。
- ③前向きに検討すべきだが、その際の運営組織は委員会主導でなく計画主導となる方が望ましい。

#### 3. 質問・意見（例）

- ①小さいクラブほど導入するメリットがあると言われるが？
- ②3年委員を前提にすると、当クラブでは大変ではないか。
- ③委員会によっては人数を絞り込む、または兼務するといった運営が必要。

#### 4. 協議結果

- ①CLP導入の検討を進めていくことは了承。
- ②進め方は委員会で作成し、今後開催するフォーラムで議論する。
- ③委員会メンバーは、現会長・幹事、次期会長・幹事、名古屋前ガバナー補佐に加えパスト会長を若干名とする。

報告 植松 正 幹事

## 編集後記

恒例の納涼例会ですね、しかし暑気払いしたいほど連日の熱さを感じません。例年高校野球の予選が始まる頃梅雨明けでしたが、もう決勝戦が終わってしまいました。何故か季節がおかしくなっています。